

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【考え方の違いを知るための活動】	活動の目的は、「自分と他者の価値観の違いを理解すること」と、「ネットの有用性や危険性を理解すること」である。いくつかの事象について、「いやだ」と感じる順に事象を並び替え、友人と比較することで、価値観の違いにふれた。
	成果 仲のよい友達同士でも、物事に対する価値観が大きく異なることを実感している様子であった。また、ネットの危険性についても改めて確認することができた。
	課題 自分軸だけではなく、他人軸で物事を考えることができる生徒が増えるよう、これからも実践を重ねていきたい。
2 実践2 【自他を尊重するための活動】	活動の目的は、「自分の価値を認めること」である。互いに尊重し合うことの第一歩として、自分を尊重するための活動を行った。生徒はまず、自分の短所を一つ挙げた。それを各班のメンバーがリフレーミングすることで、自分の長所に気がつくことができるような実践とした。
	成果 活動を厳選したことで、朝の時間を活用して取り組むことができた。また、短所も捉え方によっては長所になり得ることを実感している生徒が多くいた。
	課題 自己肯定に課題のある生徒が多いと感じる。定期的な取り組みを行うことも重要だが、日常の中の些細な出来事から、教員が生徒を認め、尊重することが大切だと感じた。